

## 第2部

# 基本構想

隠岐の島町が目指すまちの姿  
まちづくりの基本理念と基本目標  
施策体系

# 1 隠岐の島町が目指すまちの姿

## 1) 目指す将来像

### 【まちの将来像】

# つながらあや つながあや 一万年の隠岐の島

隠岐の島が日本列島から離れ、現在の姿となって約一万年。

先人から受け継がれた自然、そして伝統と文化をもとに育まれた、この島のあたたかい人と人のつながりは、変えてはならないものであり、変えたくないものです。

私たちはそうした島の環境とともに暮らしてきましたが、現在、少子高齢化・人口減少という大きな課題に直面し、これからの将来に向けての町の姿勢が問われる時期を迎えています。

《つながらあや、つながあや》は、方言を用いて、個人・地域を問わずあらゆるものがつながり、さらにそれらを将来にしっかりつないでいくことを町民の方々に呼びかけることを意味します。

《一万年の隠岐の島》には、他に類を見ない大地の成り立ちを語る島の希少性、そして文化伝統に彩られた『一万年の歴史』を未来へどのようにつないでいくのか』というミッションを町民の方々全員に共有してもらえるようにとの願いを込めています。

現状の課題を乗り越え、明るい未来を築いていけるよう、町民全ての方々が世代や立場の違いを超えて縦横無尽につながり、隠岐4か町村、島根、日本、さらに世界へと、新たなつながりが広がっていくまちの実現を目指していきます。

## 2) 人口ビジョン

平成27年度に策定した「隠岐の島町まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、隠岐の島町の人口の将来展望を以下のように掲げ、この将来展望の実現のための施策を推進する方針を定め、人口減少対策に取り組んできました。

### ■隠岐の島町の人口の将来展望(平成27年度人口ビジョン)

＊出生率の向上や人口の社会増をもたらし、人口減少に歯止めをかけることにより、年間出生数は120人程度を維持するとともに、令和42(2060)年に1万人以上の人口を維持し、年齢階級ごとにバランスの取れた人口構造を目指す。

### ■実現のための施策(平成27年度人口ビジョン)

#### 1. 合計特殊出生率の上昇(出産・子育て支援の推進)

**目標**：令和11年度末までに合計特殊出生率「2.23」

#### 2. 雇用の場の確保による若者の島外流出抑制(若者Uターン施策の推進)

**目標**：令和12年以降、20代後半の転入超過数が年間90人(Uターン60人、Iターン30人)以上とすることを旨とする。

#### 3. 子育て世代の転出抑制と転入促進(子育て世帯のUターン施策の推進)

**目標**：令和11(2029)年度末までに子育て世帯(30代前半～50代前半)の転出、転入数を同等とすることを旨とする。

取り組みを進めた結果、合計特殊出生率は、策定時(平成26年)の1.76から現況値(平成30年)2.28に伸びており、全国でも高水準の島根県の中にあっても高いものとなっています。また、若者(20歳代)及び子育て世代(30歳代から40歳代)のUターン者数においては、統計を取りはじめた平成27年度は、77人でしたが、現況値(平成30年)には112人と増加しています。なお、全世代を通してのUターン者は、平成27年度は137名でしたが、平成30年度には、198名と大きく増加しています。

### 3) 本計画で設定する人口の将来展望

今回新たに策定する「第2次隠岐の島町総合振興計画」では、総合戦略で掲げた人口目標等を踏まえ、以下のような人口目標を設定し、目標達成へ向けた各種施策を推進します。

#### ■人口目標

＊第1次総合戦略に引き続き、令和42(2060)年に1万人以上の人口の維持を目指すとともに、今後10年間の人口目標については、第1次総合戦略の目標値より減少幅を抑制し、令和6年度末(5年後)の人口目標を13,293人【+416人】、令和11年度末(10年後)の人口目標を12,781人【+357人】とすることを目標とする。

#### ■実現のための施策

##### 1. 合計特殊出生率の維持(出産・子育て支援の推進)

**目標**：平成30(2018)年の実績値である2.28を維持する。

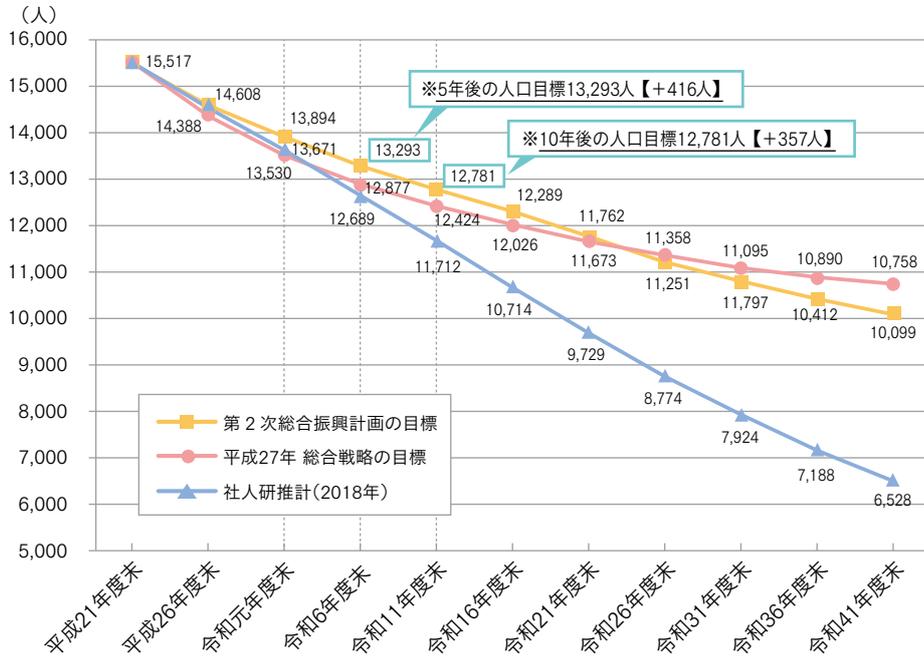
##### 2. 社会増に向けた定住増加の確保に向けた取り組み

**目標**：令和11(2029)年度末の10年後において、現在の本町へのUターン者数に加え、さらに以下の定住者増加を確保することにより、社会増の仕組みづくりを実現する。

- ①20代前半男女(2名)の年間12組の定住増加
- ②20代後半女性の年間12人の定住増加
- ③30代子ども連れ夫婦(3名)の年間12組の定住増加
- ④60代定年帰郷夫婦(2名)の年間12組の定住増加

## ■人口推計

前期人口ビジョンを策定した平成27年度から平成30年度までの人口動態実績や合計特殊出生率を反映し、令和11年度末での目標達成を踏まえ人口推計を行いました。



※社人研

国立社会保障・人口問題研究所の略称。人口研究・社会保障研究等を行う国の機関。

### 人口推計の考え方

#### 《社人研推計》

- 平成27(2015)年の国勢調査の結果を踏まえ、人口の変動要因である出生、死亡、国際人口移動について、各要因に関する統計指標をもとに推計。

#### 《平成27年 総合戦略の推計》

- 「隠岐の島町まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、以下の方針に沿って、将来人口を推計。

	令和12(2030)年時点の目標
合計特殊出生率	「2.23」を維持
20代後半の転入超過数	年間90人以上を確保
子育て世帯の転出数	転入数と同等

#### 《第2次総合振興計画の推計》

- 平成27年総合戦略における将来人口推計の「社会増数」は、10代後半の転出数を大幅に上回る社会増を想定していたが、平成27年度から平成30年度の実績を踏まえ、「第2次総合振興計画」では、隠岐の島町の実態に即して将来人口推計の仮定値を見直した。

## 2 まちづくりの基本理念と基本目標

### 1 ) 基本理念

---

将来像の実現に向け、以下の3つを今後のまちづくりにおいて大切にしている考え方（基本理念）に決めました。これらの考え方に基づき、必要な取り組みを進めていきます。

#### 【基本理念】

#### 大切にしている考え方

---

### 1. 島を愛する

一万年の歴史ある島への愛と誇りを自らが育み、  
その思いを日々の一つひとつの行動に変えて、  
島の活力を高めます。

### 2. 力を合わせる

目的を共有した人があらゆる枠を超え、  
縦横無尽につながり、  
“共生のまち”の実現に取り組みます。

### 3. 未来へつなぐ

豊かな自然、その上に育まれた豊かな伝統と文化、産業。  
先人から受け継ぐこの島の豊かさを次世代へつなぐために、  
挑戦を続けます。

## 2) 基本目標(まちづくりの方向性)

目指すまちの姿の実現に向け、以下の6つをまちづくりの基本目標に定め、必要な取り組みを進めていきます。

### ① ひとが輝くまち

まちづくりの主役は隠岐の島町に暮らす全ての町民です。本町におけるまちづくりの究極的な目標は、ここに暮らす町民一人ひとりが幸せを実感できる暮らしを実現することです。そのためには、子どもから大人まで一人ひとりの町民の個性と能力が発揮され、夢と希望を持って暮らすことができる環境を整える必要があります。

子どもたちの能力を伸ばす教育環境づくりを進めるとともに、互いの個性を認め合い、誰もが自分らしく、心豊かに暮らすことができるまちづくりを進めます。



### ② 安心して暮らせるまち

誰もが住み慣れた地域で、健康で安心して暮らしていくためには、自然災害や交通事故、犯罪から生命や財産を守るなど、住民生活の安全性を高める必要があります。また、病気や怪我へ対応した医療環境の整備や、高齢の方、障がいのある方が安心して暮らせる福祉環境の充実、若い世代が安心して子どもを産み育てることができる暮らしの場づくりが求められます。

必要なときに必要な医療サービスが受けられる環境づくりや、疾病予防や健康増進に向けた取り組みの充実、互いに支えあう福祉環境の整備等を進めるほか、防犯・防災機能の強化を通じて、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。

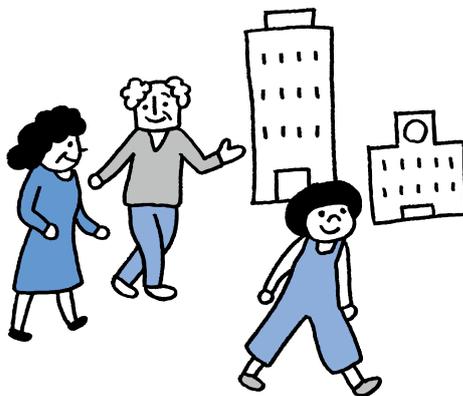


### ③ 住みやすさを実感できるまち

隠岐の島町を今後とも持続可能なまちとするためには、まちに暮らす町民はもとより、将来のまちの担い手となる子どもたちや、島外から移住・定住を希望される方々が暮らし続けたいと思えるまちを実現する必要があります。

情報通信基盤、上下水道等、生活に必要なインフラ整備を進めるとともに、地域コミュニティの自主性・主体性や地域の特色を生かした魅力ある住環境づくりに取り組みます。

高齢者などの交通弱者やマイカーをもたない観光客がスムーズに移動できる交通環境を整備するほか、島外の人が、本町の暮らしの魅力に触れる機会づくりを通じて、本町に住みたい、関わりたいと思える環境づくりに取り組みます。



### ④ 活力を生み出すまち

隠岐の島町ではこれまで「観光を機軸とした産業おこし」に向け、農林水産業の基盤整備、地域商工業の活性化に取り組んできましたが、高齢化の影響等による担い手不足が深刻で、事業承継に困難を抱える事業者も少なくありません。本町の活力を維持・向上するためには、将来にわたりまちの経済をけん引する事業者の成長と持続的な発展が不可欠です。

このため、付加価値の高い農林水産物の生産とブランド化を通じた、第1次産業の振興や商工業等、地域の雇用・経済活動を支える民間事業者の経営への支援や後継者の確保などへの支援を通じて、既存産業の活力を高めていきます。また、隠岐ならではの資源を生かした観光地づくりを進めるとともに、離島交通の利便性の向上、島外の企業や学術機関と連携した新たな産業づくり等を通じて、隠岐の島町内へのひと・ものの流入を促進していきます。

さらに、生活に必要な食糧・物資を島内で生産・流通する仕組みづくりを通じて、島内の経済循環率を高め、町民が豊かさを実感できるまちづくりを進めます。

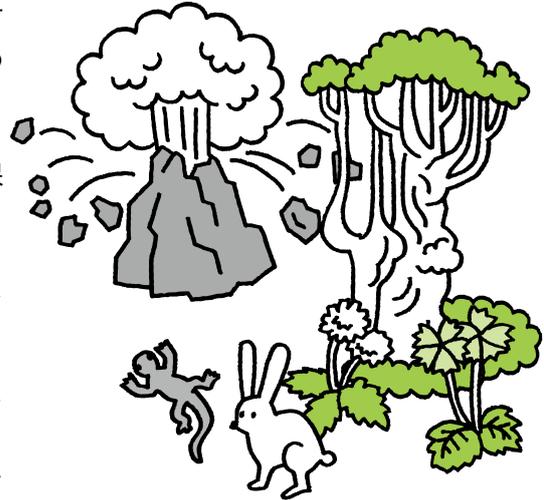


### ⑤ 自然と共に生きるまち

隠岐の島町が持つ自然環境は、町民の誇りであるとともに、多くの観光客を惹きつける魅力の一つです。先人から受け継いできた自然と一体となった歴史、文化、伝統を大切に、次世代に引き継いでいくことが私たちの責務です。

地球温暖化の進行、異常気象の発生等、世界的な環境変化が進む中、現代社会の一員として温室効果ガスの排出削減や資源循環型社会の構築など、環境問題への取り組みを進めていきます。

また、隠岐の島町の美しい自然・景観を保全し、住民生活へ効果的に取り込んでいくことで、町民が豊かさを実感できる質の高い暮らしを町民と共に創造していきます。同時に、自然と一体となった暮らしを隠岐の島町の魅力として発信することで、イメージアップと共感づくりに取り組みます。



### ⑥ 共に創るまち

人口の減少等による税収の減少、高齢化の進行等による社会保障関係費の増加など、財政状況が厳しさを増す一方で、多様化・高度化する社会情勢に対応していくためには、効率的・効果的な施策の推進を図る必要があります。

そのような状況の中、町が目指す将来像の実現に向け、町民と行政が情報を共有し、理解と信頼を深め、相互の連携や協力関係に基づく協働のまちづくりをより一層強力に進めるとともに、役場職員一人ひとりの意識改革や能力向上を図り、選択と集中の徹底による質の高い行政サービスの提供に取り組めます。



### 3 施策体系

まちの  
将来像

つながらあや  
つながあや  
一万年の隠岐の島

#### 基本理念

島を愛する

力を合わせる

未来へつなぐ

#### 基本目標

ひとが輝くまち

安心して  
暮らせるまち

住みやすさを  
実感できるまち

活力を  
生み出すまち

自然と共に  
生きるまち

共に創るまち

## 基本計画

- 01 子育てしやすい環境を整えます
- 02 将来を担う子どもたちが育つ魅力ある教育環境づくりを進めます
- 03 互いに認め合い、誰もが生きがいをもって活躍できるまちをつくります
- 04 かけがえのない文化芸術を未来へつなぎます

- 01 安心を支える医療体制を確保します
- 02 元気で長生きできるまちづくりを推進します
- 03 互いを支え合う福祉環境の充実を図ります
- 04 日常生活の安全を確保します

- 01 快適な住環境を整えます
- 02 地域コミュニティのつながりと活力を育みます
- 03 島内をスムーズに移動できる交通環境を整えます
- 04 移住・定住しやすい環境を整えます

- 01 既存産業の活性化と承継を進めます
- 02 島の特性を活かした新たな産業を育成します
- 03 ひとの往来を促す離島交通の充実を図ります
- 04 ひとを惹きつける観光地づくりを進めます
- 05 島内流通の活性化を進めます

- 01 資源が循環する島をつくります
- 02 島の美しい自然環境を保全します

- 01 協働によるまちづくりを推進します
- 02 時代にあった行政サービスを提供します
- 03 財政の健全化に向けた取り組みを進めます

### まちづくり 4つの重点 プロジェクト

- ★ 経済の好循環づくりプロジェクト
- ★ 働く場づくりプロジェクト
- ★ 新しい人の流れづくりプロジェクト
- ★ 個々の希望に寄り添う少子化対策とまちを支える人づくりプロジェクト